

単元名

第1学年 NEW CROWN

Project1 理想のロボットを発表しよう

内容のまとめ

「話すこと [発表]」イ

1 「話すこと [発表]」における第1学年の目標

関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、その場で考えを整理して、重要な情報に強勢を置いたり、つなぎ言葉や言い直し、身振り手振りなどを用いたりして、即興で話すことができる。

2 Project1の目標

教科担任が「こんなロボットがあったらなあ」と思う、教科担任の意向に沿った理想のロボットを提案するために、教科担任の意向を理解し、その意向に沿ったロボットの特徴や、できることなどを考え、メモを基に、3段構成で提案することができる。

3 Project1の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 一般動詞や be 動詞、助動詞 can、や疑問詞などの特徴やきまりを理解している。 - メモを基に、ロボットの特徴やできることなどを、教科担任の意向を理解した上で、提案する技能を身に付けている。	教科担任が「こんなロボットがあったらなあ」と思う、教科担任の意向に沿った理想のロボットを提案するために、教科担任の意向を理解し、その意向に沿ったロボットの特徴や、できることなどを考え、メモを基に、3段構成で提案している。	教科担任が「こんなロボットがあったらなあ」と思う、教科担任の意向に沿った理想のロボットを提案するために、教科担任の意向を理解し、その意向に沿ったロボットの特徴や、できることなどを考え、メモを基に、3段構成で提案しようとしている。

4 言語活動における主な留意点

- 1 メモを基にスピーチをするため、文章ではなく、キーワードでメモを作成するよう指導する。
- 2 互いにスピーチを聞き合う際は、教科担任の意向に沿っているのか、3段構成でまとめのある英文になっているのかという視点で聞き合うよう指導する。

5 生徒に提示する目的・場面・状況(第2時において)

<JTE が話す内容>

(シンクにたまった皿、たまっている洗濯物、娘・息子の宿題の写真を提示して) I have many problems. I wash dishes every day and I have many laundries. Also, I help my daughter and son's homework. And I have a lot of work every day. I want dream robot. So please suggest me a dream robot for me!

6 展開案を含む指導計画

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
Ⅰ (気づき、理解する時間)	■自分の理想としているロボットについて発表する活動を通して、そのロボットのできることや、特徴について相手に伝えたとよいことを理解し、メモを基に、3段構成で話すことができる。 ①Small Talk: Which mechanical dog, do you like? ②Listen (個別最適な学び) - 花とディヌーの発表を聞き、2人とも理想のロボットについて、できることや特徴について発表していることを理解する。 ③Read (個別最適な学び・協働的な学び) - 花が書いた原稿を読み、3段構成書かれていること、各段落の役割を理解する。 - 花は、どんな状況にある人にとって理想のロボットを提案したのか、意見交流をする。 ④Think (個別最適な学び) - 自分にとっての、理想のロボットについて、自分の生活を基に、考える。 - 文章ではなく、キーワードをメモする。 ⑤Talk (協働的な学び) - 仲間と、自分にとっての理想のロボットについて伝え合う。 ⑥Write (個別最適な学び) - 自分の理想とするロボットについて、3段構成で書きまとめる。	・②において、花とディヌーが提案しているロボットについて、できることや特徴は何かということだけではなく、どんな状況にある人にとって、理想と言えるだろうかということを質問し、誰をターゲットにしているか考える場を設定する。 ・②において、スクリプトを確認する時間を設定する。(個別最適な学び) ・③において、自分・ペア・全体でreadingする場を設定する。(個別最適な学び・協働的な学び) ・④において、自分の生活がより便利になるようなロボットという視点や、自分が何に困っているのかという視点で考えるよう指導する。(個別最適な学び)	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		
【本時】 2 (整理し、表現する時間)	■教科担任の意向に沿った、理想のロボットを提案する活動を通して、意向に沿ってロボットの特徴やできることなどを考えればよいことに気づき、メモを基に、3段構成で話すことができる。 ①Listen and Read (個別最適な学び・協働的な学び) - 教科担任が困っていることについて、理解する。 ②Think (個別最適な学び) - 教科担任に、理想のロボットを提案する内容を、メモを基に考える。 ③Speaking Time I - 教科担任に提案する内容について、仲間と互いに伝え合い、アドバイスをし合う。 ④Sharing Time (個別最適な学び・協働的な学び) - 抽出生徒が、教科担任に、理想のロボットを提案する。 - 仲間の提案を聞き、改めて、ねらいに立ち返り、目的に沿った英文になっているか、3段構成における各段落の役割は適切かどうか考え、再構築する。 ⑤Speaking Time II (協働的な学び) - ペアを替えて、再構築した内容で、理想のロボットについて、提案し、アドバイスをし合う。 ⑥Suggest to JTE (協働的な学び) - 全体交流で、実際に教科担任へ、メモを基に理想のロボットについて提案する。 ⑦Write - メモを基に、英文を書きまとめる。	・①において、初めは Listening のみ、2回目は、スクリプトを示しながら、Listening を行う。 ・②において、①で理解した内容を基に、前時学んだメモの仕方や、3段構成でまとまりのある英文を考えるよう指導する。また、ロイロノートで表現集を活用するよう指導する。(個別最適な学び) ・③において、相手の理解を確認しながら、特に伝えたい部分を強調したり、繰り返したりしながら話すこと、自分の考えも加えるという2つの視点を与える。 ・④において、教科担任の意向に沿った英文であるか、3段構成でまとまりのある英文になっているかを確認する。 ・⑤において、④で確認した視点を基に、自分の英文を考えるよう指導する。			

3 (活用し、学習を振り返る時間)	■教科担任の意向に沿った、理想のロボットについて、提案することができる。 ①Performance Test ・一人一人、教科担任に向けて、メモを基に、理想のロボットについて、提案する。 ・終了した生徒から、メモを基に、英文を書きまとめる。 ・単元の振り返りを書きまとめる。 <求める生徒の英文例> <パターン1> This is a dream robot, Tama chan. (ロボットの名前紹介) It is like a real cat. You can play with it and sleep with it. (特徴やできること) It's a best robot for you. (相手への一言) <パターン2> This is a dream robot, cleaning boy. It can always clean your house. You don't need cleaning. Your house is always clean. You can get time. <パターン3> The dream robot is Mr. Bell. You can get up in the morning. It can speak Japanese 'Okinasai' in a loud voice. You can't be late. ※目的・場面・状況に応じた適切な英文 ※3段構成で、まとまりのある英文	・①において、前時とは違う教科担任の困っていることについて、3パターン設定し、生徒が選択するようにする。 <パターン1> I love cats, but I can't have it. I want it! <パターン2> I don't have time. I can't clean my room every day. <パターン3> I can't wake up in the morning. Help me! 提案を考える時間を1分、絵を描く時間を30秒設定し、パフォーマンステストを行う。 <評価の観点> ・英文の正確さ(知識・技能) ・英文の適切さ:目的・場面・状況にあっているか、3段落構成で話しているか。(思考・判断・表現) ・適切な英文で伝えようとしているか。(主体的に学習に取り組む態度)	○	○	○
------------------------------	--	--	----------	----------	----------